

# 第6回福祉用具専門相談員研究大会 開催報告書

第6回福祉用具専門相談員研究大会実行委員会

## 第6回福祉用具専門相談員研究大会概要

- 【開催日】 令和7年6月19日（木）
- 【大会テーマ】 介護人材不足を補う福祉用具サービスの役割  
～ 福祉用具の能力を最大限引き出す相談員のスキルアップ ～
- 【会場】 浅草橋ヒューリックホール（東京都台東区浅草橋1-22-16）  
※オンライン併用
- 【主催】 第6回福祉用具専門相談員研究大会実行委員会
- 【共催】 一般社団法人日本福祉用具供給協会  
一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会
- 【大会長】 小野木 孝二（一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事長）
- 【副大会長】 岩元 文雄（一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会 理事長）
- 【大会概要】 特別講演1題・口述発表40題
- 【参加者数】 1,267名（現地参加376名、オンライン参加891名）
- 【後援】 厚生労働省、東京都福祉局  
（一社）回復期リハビリテーション病棟協会、（公社）関西シルバーサービス協会、  
（一社）こうしゆくゼロ推進協議会、国際医療福祉大学大学院、姿勢活動ケア研究会、  
（一財）JASPEC、（一社）シルバーサービス振興会、（一社）全国介護事業者連  
盟、（公社）全国国民健康保険診療施設協議会、（一社）全国デイ・ケア協会、（一社）  
全国福祉用具人材育成協会、全国福祉用具相談・研修機関協議会、（公社）全国老人福  
祉施設協議会、（公社）全国老人保健施設協会、（公財）テクノエイド協会、（特非）  
東京都介護支援専門員研究協議会、（一社）ナチュラルハートフルケアネットワーク、  
（公社）日本医師会、（一社）日本介護支援専門員協会、（公社）日本介護福祉士会、  
（一社）日本義肢協会、（公社）日本義肢装具士協会、（一社）日本車椅子シーティン  
グ協会、（一財）日本車椅子シーティング財団、（一社）日本ケアマネジメント学会、  
（一社）日本言語聴覚士協会、（一社）日本在宅介護協会、（一社）日本作業療法士協会、  
（公社）日本社会福祉士会、（一社）日本褥瘡学会、（一社）日本生活支援工学会、  
（一社）日本ノーリフト協会、（一社）日本福祉用具・生活支援用具協会、（公財）日本  
訪問看護財団、（公社）日本理学療法士協会、（公社）日本リハビリテーション医学  
会、（特非）日本リハビリテーション看護学会、（一社）日本リハビリテーション工学  
協会、（一社）日本リハビリテーション病院・施設協会、福祉用具プランナー研究ネット  
ワーク※50音順

**第6回福祉用具専門相談員研究大会 開催報告**  
**大会テーマ：介護人材不足を補う福祉用具サービスの役割**  
**～ 福祉用具の能力を最大限引き出す相談員のスキルアップ ～**

令和7年6月19日（木）、第6回福祉用具専門相談員研究大会を開催いたしました。

今回大会も、前回同様に現地とオンラインのハイブリッドで開催し、1,267名（うち現地会場 376名）と大変多くの方々にご参加をいただき、盛会のうちに終えることができました。

開会にあたり、小野木大会長からは「2025年は団塊の世代が75歳以上となり、介護を必要とする方が一層増加する一方で、これを支える現役世代は減少していきます。このような状況の中で、福祉用具の社会的役割はますます重要性を増しています。福祉用具は、深刻化する介護人材の不足を補完する有効な手段であると同時に、介護保険財政の抑制にも寄与することから、その一層の活用が強く求められています。」と大会テーマに基づいた挨拶がありました。

そして、来賓を代表して厚生労働省高齢者支援課福祉用具・住宅改修指導官の野上雅子様よりご祝辞を賜りました。

続く特別講演では、俳優で一般社団法人 Get in touch の代表を務める東ちづる様より「誰も排除しない「まぜこぜの社会」と福祉用具」をテーマに、東様が30年以上続けている活動を通じて得た気づきを中心に、障がいをお持ちの方と共に繋がって生きていく考え方について分かりやすくご講演いただきました。

午後からは3つの会場に分かれて口述発表がそれぞれ実施されました。

第一会場では小林広美座長による口述1「介護人材不足を補う福祉用具サービス」、勝田由美子座長による口述4「地域・多職種連携・利用安全の取組」の発表が行われました。

第二会場では、田中勇次郎座長による口述2「福祉用具利用効果の可視化」、角南拓磨座長、佐藤啓太座長による口述5「経験3年未満相談員の福祉用具導入事例」の発表が行われました。

第三会場では、小林大作座長による口述3「福祉用具メーカーとの連携・協働」の発表が行われたあと、老健事業等の報告が行われました。

全ての演題発表が終了した後、第一会場においてシンポジウムが開催され、6名の座長がシンポジストを、コーディネーターを岩元文雄副大会長が務めました。シンポジウムでは各口述発表の総括に始まり、大会テーマを通じた福祉用具専門相談員に対する提言や、次回大会に向けた問題提起やエールをいただきました。

最後に閉会式では、第7回大会の大会長を務める岩元文雄副大会長が、第6回大会が無事終了したことに対する御礼と、第7回大会の予告及び抱負を述べて第6回大会は幕を閉じました。

## 第6回福祉用具専門相談員研究大会プログラム

### 【開会式】

10:00~10:30

(第一会場)

開会挨拶 小野木孝二大会長



来賓挨拶 厚生労働省老健局高齢者支援課 野上雅子 様



### 【特別講演】

10:30~11:30

(第一会場)

講師 俳優・一般社団法人Get in touch 代表 東ちづる 様  
演題 「誰も排除しない『まぜこぜの社会』と福祉用具」



## 第6回福祉用具専門相談員研究大会プログラム

### 【口述発表1】介護人材不足を補う福祉用具サービス

(第一会場) 12:50~14:15

座長：一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長 小林広美 氏



### 【口述発表2】福祉用具利用効果の可視化

(第二会場) 12:50~14:15

座長：一般社団法人 東京都作業療法士会 会長 田中勇次郎 氏



### 【口述発表3】福祉用具メーカーとの連携・協働

(第三会場) 12:50~14:15

座長：株式会社アシテック・オコ 代表取締役 小林大作 氏



### 【口述発表4】地域・多職種連携・利用安全の取組

(第一会場) 14:35~16:00

座長：一般社団法人ワイズ住環境研究所 代表理事 勝田由美子 氏



## 第6回福祉用具専門相談員研究大会プログラム

### 【口述発表5】経験3年未満相談員の福祉用具導入事例（チャレンジ発表）

（第二会場） 14：35～16：00

座長：日本基準寝具株式会社 財務・法務Gr. 課長代理 角南拓磨 氏  
 フランスベッド株式会社 デジタル営業推進課 課長 佐藤啓太 氏



### 【事業報告】 老健事業等報告

14：35～15：25

（第三会場）

報告者：EM・アール・アイ リサーチソリュツ株式会社  
 一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会  
 一般社団法人日本福祉用具供給協会

8. チェックシート

項目	内容	確認
福祉用具の必要性	福祉用具の必要性を判断する	○
福祉用具の種類	福祉用具の種類を確認する	○
福祉用具の導入	福祉用具の導入を確認する	○
福祉用具のメンテナンス	福祉用具のメンテナンスを確認する	○
福祉用具の廃棄	福祉用具の廃棄を確認する	○



### 【ランチョンセミナー】

11：40～12：20

（第二・第三会場）

協賛：シーホネンス株式会社  
 パラマウントヘルスケア総合研究所



福祉会の介護種

項目	内容	福祉会の介護種
在宅介護	在宅介護の対応業務が中心	在宅介護
施設介護	施設介護、シニア入居（二一泊型）施設提供によるケアの提供	施設介護
地域介護	PDGがトータルサービス提供 地域連携による、福祉サービス提供	地域介護
福祉会の介護種	福祉会の介護種	福祉会の介護種

## 第6回福祉用具専門相談員研究大会プログラム

### 【シンポジウム】

16:20~17:30

(第一会場)

コーディネーター：岩元文雄副大会長

シンポジスト：小林(広)座長、田中座長、小林(大)座長、勝田座長、  
角南座長、佐藤座長



### 【閉会式】

17:30~17:40

(第一会場)

閉会挨拶 岩元文雄副大会長



### 【懇親会】

17:55~19:20

(懇親会場)



## 第6回福祉用具専門相談員研究大会 発表者・演題一覧

### 口述発表1 【演題一覧】

時間：12:50～14:15

会場：第一会場(2階ヒューリックホール)

#### テーマ 介護人材不足を補う福祉用具サービス

座長：小林 広美 氏(一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長)

No.	発表者	所属	演題 (副題)
1	月東 祐哉	(株) ライフ・テクノサービス	自動ラップ付きポータブルトイレ導入後の介護負担の変化について
2	森 祐樹	(株) トーカイ	車いす利用者のQOLと介護負担の比較検証
3	花香 愛 畑谷 泰我	(株) ヤマシタ	リフト導入による離床回数の変化から考察する ノーリフティングケアの重要性について
4	神村 淳也	(株) トーカイ	ALS患者の在宅生活におけるQOL維持のための 福祉用具の活用
5	今村 慎太郎	フランスベッド(株)	多職種連携の取り組み (福祉用具専門相談員としての役割、多様化した 福祉用具の啓発)
6	川崎 めぐみ	国立障害者リハビリテーション センター研究所	在宅認知症高齢者に対する徘徊対策と見守りのための 支援機器の利用実態と選定要件の抽出(アンケート 調査)
7	松下 祐太	(株) カクイックスウィング	介護現場における会話AIロボットの活用と可能性 (FIMを用いたアンケートとヒアリング調査を通して)
8	巖 英二	パラマウントヘルスケア 総合研究所	在宅での介護テクノロジー活用による福祉用具専門 相談員のモニタリング業務の質向上 (福祉用具専門相談員の業務領域の拡大)

## 第6回福祉用具専門相談員研究大会 発表者・演題一覧

### 口述発表2 【演題一覧】

時間：12:50~14:15

会場：第二会場(3階Room0〈ゼロ〉)

#### テーマ 福祉用具利用効果の可視化

座長：田中 勇次郎 氏（一般社団法人東京都作業療法士会 会長）

No.	発表者	所属	演題（副題）
1	槻岡 正之	(株)ヤマシタ	電動車いす導入による、経済的・人的負担軽減と行動範囲拡大の実現
2	鎌谷 勝輝	(株)トーカイ	電動車いすのもたらすADL・QOLへの影響に関する調査
3	東海林 明朋	(株)トーカイ	病名告知が行われていない末期がん利用者に対する福祉用具導入と医療連携について
4	前田 壮	(株)トーカイ	身体状況変化における福祉用具貸与のメリット
5	有田 大	ラミコジャパン(株)	福祉用具利用の適正化と情報共有の容易性についての取組 (計画書及びモニタリング表における利用評価の可視化)
6	岩谷 知起	(株)トーカイ	歩行関連用具の使用による転倒リスクの変化と、福祉用具専門相談員の転倒予防へのアプローチについて
7	大田 健介	(株)カクイックスウィング	モニタリングの定量実施によって導き出した歩行器利用効果の可視化(定量分析による取組がもたらすモニタリングでの実用の可能性について)
8	沼田 一恵	パラマウントヘルスケア 総合研究所	要介護高齢者に対する特殊寝台の有用性調査研究 (背角度調整による起き上がり動作への影響)

## 第6回福祉用具専門相談員研究大会 発表者・演題一覧

### 口述発表3 【演題一覧】

時間：12:50~14:15

会場：第三会場(3階Room4)

#### テーマ 福祉用具メーカーとの連携・協働

座長：小林 大作 氏 (株式会社アシテック・オコ 代表取締役)

No.	発表者	所属	演題 (副題)
1	沼尻 侑也	(株)ヤマシタ	拡大家族における高機能ポータブルトイレの活用
2	上田 晃義	(株)柴橋商会	独居利用者への福祉用具サービス提供 (自由な時間を過ごしたいA氏に、福祉用具の提供を行った)
3	喜多 祐介	(株)ヤマシタ	介護リフトを活用し、退院後夫婦で自立した在宅生活を送る為の取り組み
4	和泉 友紀	(株)ジェー・シー・アイ	福祉用具専門相談員の関わりを通じた移動用リフト導入効果の検証
5	藤本 裕香 廣瀬 健史	(株)ヤマシタ	「軽量でコンパクトな歩行車がよい」に縛られない あえて「広い支持基底面の歩行器」を提案した事例
6	安樂 慶太	フランスベッド(株)	福祉用具メーカーとの連携による勉強会 (リハビリ職に対する福祉用具の知識の共有)
7	中山 雅人	エイジライフ(株)	緊急時、非常事態時における福祉用具専門相談員の 最善を考えた行動
8	宮本 康平	(株)ウィードメディカル	モニタリング時の議事録自動作成アプリ導入における 業務改善効果と課題

## 第6回福祉用具専門相談員研究大会 発表者・演題一覧

### 口述発表4 【演題一覧】

時間：14:35~16:00

会場：第一会場(2階ヒューリックホール)

#### テーマ 地域・多職種連携・利用安全の取組

座長：勝田 由美子 氏（一般社団法人ワイズ住環境研究所 代表理事）

No.	発表者	所属	演題（副題）
1	高崎 光	エイジライフ株式会社	地域・多職種連携の中で認知症の方を支える福祉用具専門相談員の役割
2	岸本 拓真	(株)トーカイ	多職種連携による大腿骨骨折患者の在宅復帰への取り組み (福祉用具の在り方)
3	磯部 真悟	(株)トーカイ	退院支援における多職種連携と住環境整備の重要性 (多職種連携で実現した安全で快適な在宅生活のサポート)
4	伊丹 貴信	(株)同仁社	定期モニタリング訪問による福祉用具の選定・提案
5	小島 みさお	東京都健康長寿医療センター 研究所・明星大学	福祉用具貸与・販売選択制導入半年後の実態と課題 (福祉用具専門相談員への調査から)
6	浅野 一諒	(株)同仁社	特殊寝台利用の利用状況把握と再説明の必要性 (モニタリングの重要性)
7	菅原 桜	(株)タマツ	災害時における福祉用具貸与事業者の役割
8	水越 良行	(株)ヤマシタ	親の介護を経験し気づいた、福祉用具サービスの効果と課題

## 第6回福祉用具専門相談員研究大会 発表者・演題一覧

### 口述発表5 【演題一覧】

時間：14:35～16:00

会場：第二会場(3階Room0(ゼロ))

#### テーマ 経験3年未満相談員の福祉用具導入事例(チャレンジ発表)

座長：角南 拓磨 氏 (日本基準寝具株式会社 財務・法務 Gr. 課長代理)

佐藤 啓太 氏 (フランスベッド株式会社 メディカル事業本部 メディカル営業推進課 課長)

No.	発表者	所属	演題 (副題)
1	渡邊 暖希	(株)ヤマシタ	豊かな暮らしを支えるためのYTC提案(退院後の家屋環境整備を通して感じたご家庭での人材不足)
2	堀田 和秀	日本基準寝具(株)	医療と介護の架け橋となるべき福祉用具専門相談員の在り方 (ギャップを埋める医介連携と制度にとられない住環境マネジメントの重要性について)
3	上村 航輝	(株)カクイックスウィング	多系統萎縮症の重度利用者への福祉用具導入事例 (床ずれ防止用具、体位変換器クッション導入事例を通して)
4	小木 康平	(株)ヤマシタ	高齢者への福祉用具啓発活動がもたらす意識変容と福祉用具専門相談員が担うべき役割の検討
5	菅原 誉生	(株)かんきょう	福祉用具導入における機能的評価(Barthel Index、以下BI)とNRS(Numerical Rating Scale)の活用及び導入効果の可視化 (福祉用具導入効果の数値化に向けた取り組みと課題)
6	藤原 孝洋	(株)ヤマシタ	退院後の安全な在宅生活を送るための多職種連携の必要性
7	山崎 圭太	(株)トーカイ	パーキンソン病の進行により転倒を繰り返していた6輪自走車いす利用者に対する福祉用具導入事例
8	高橋 大地 徳留 勇治	(株)カクイックスウィング	モニタリングの適切な実施に向けた取り組み (ケアマネジャーへのアンケート調査を通じた現状と課題)

## 第6回福祉用具専門相談員研究大会 参加者アンケート集計結果

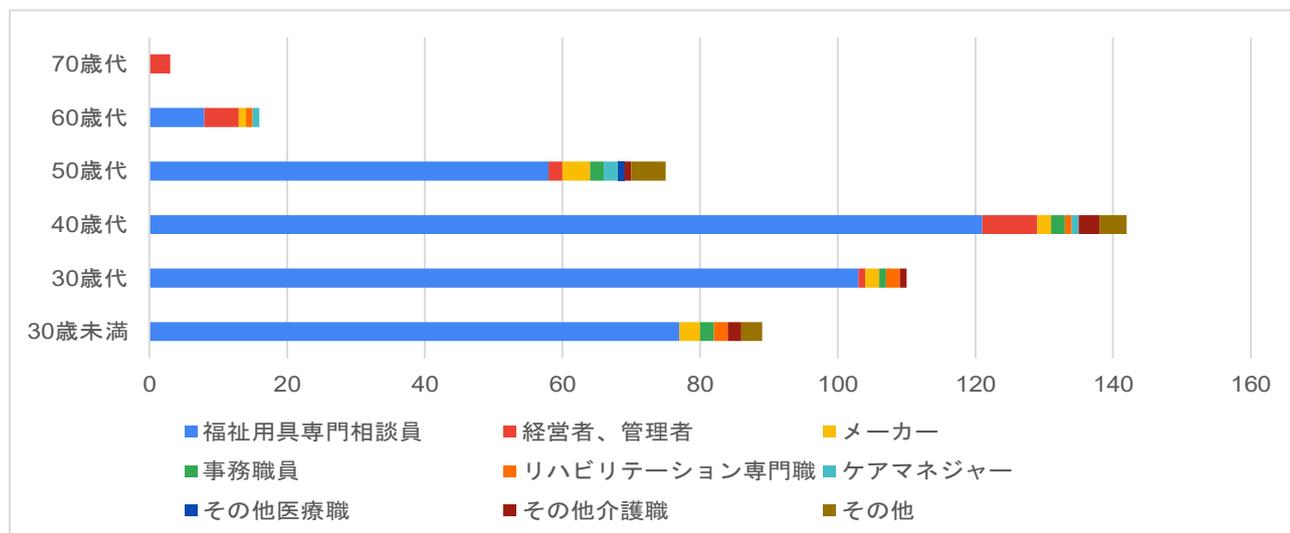
### アンケート概要

- 実施時期：2025年6月19日（木）～30日（月）
- 調査方法：eメールによるwebアンケート様式の配布・回収
- 回収状況：発送数1,130人／回収数435人／回収率38.5%

### 1. 回答者の基本属性について

(単位:人)

	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	総計	構成比
福祉用具専門相談員	77	103	121	58	8	0	367	84.4%
経営者、管理者	0	1	8	2	5	3	19	4.4%
メーカー	3	2	2	4	1	0	12	2.8%
事務職員	2	1	2	2	0	0	7	1.6%
リハビリテーション専門職	2	2	1	0	1	0	6	1.4%
ケアマネジャー	0	0	1	2	1	0	4	0.9%
その他医療職	0	0	0	1	0	0	1	0.2%
その他介護職	2	1	3	1	0	0	7	1.6%
その他	3	0	4	5	0	0	12	2.8%
総計	89	110	142	75	16	3	435	100.0%
構成比	20.5%	25.3%	32.6%	17.2%	3.7%	0.7%	100.0%	



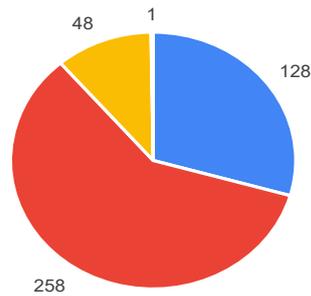
### 2. 参加方法について

	人数	構成比
現地参加	96	22.1%
オンライン参加	339	77.9%
総計	435	100.0%



### 3. 全体の感想について

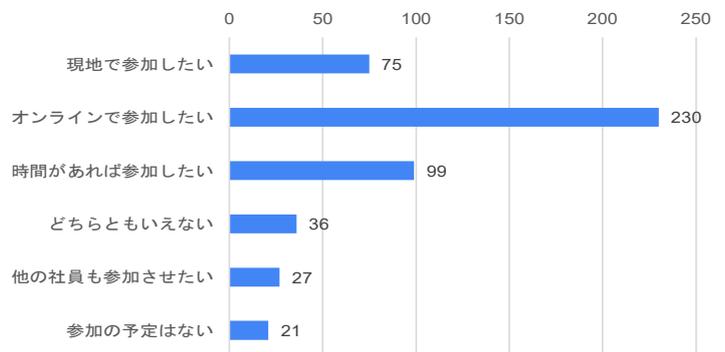
	人数	構成比
とても良かった	128	29.4%
良かった	258	59.3%
どちらともいえない	48	11.0%
あまり良くなかった	1	0.2%
良くなかった	0	0.0%
総計	435	100.0%



■ とても良かった ■ 良かった  
 ■ どちらともいえない ■ あまり良くなかった

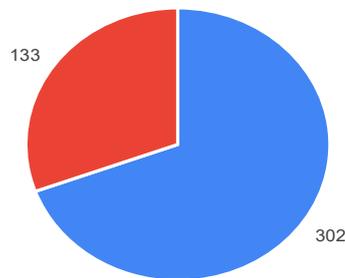
### 4. 次回の参加について（複数回答）

	人数	割合
現地で参加したい	75	17.2%
オンラインで参加したい	230	52.9%
時間があれば参加したい	99	22.8%
どちらともいえない	36	8.3%
他の社員も参加させたい	27	6.2%
参加の予定はない	21	4.8%
総計	435	100.0%



### 5. アーカイブ配信について

	人数	構成比
視聴する予定	302	69.4%
視聴しない	133	30.6%
総計	435	100.0%



■ 視聴する予定 ■ 視聴しない

### 6. その他ご意見など（自由記述）

自由記述カテゴリ	件数
運営に問題はなかった	17
発表時間が短すぎる	8
勉強になった	8
演題数が多すぎる	4
機材の不具合が気になった	4
質疑応答の時間が短い	4
継続してほしい	2
研究の要素を増やしてほしい	1
その他	20
総計	68

**第6回 福祉用具専門相談員研究大会  
介護人材不足を補う福祉用具サービスの役割**

- 日時：2025年6月19日（木）
- 会場：浅草橋ヒューリックホール、オンライン併用開催
- 参加費：日福協、ふくせんいずれかの会員および賛助会員3,000円ほか
- 主催：第6回福祉用具専門相談員研究大会実行委員会
- お問い合わせ：TEL（日福協）：03-6721-5222

Symposium シンポジウム

「介護人材不足を補う福祉用具サービスの役割～福祉用具の能力を最大限引き出す相談員のスキルアップ～」をテーマに、新たな福祉用具についてや、より有効な福祉用具の提案をできる専門相談員の育成の一助になることを目指す。当日は東ちづる氏（俳優・一般社団法人 Get in touch 代表）が特別講演を行うほか、シンポジウム、演題発表、懇親会などが行われる予定。

62 | 月刊ケアマネジメント 2025.5

**7** ビジネス 2025年(令和7年) 6月13日(金曜日)

**シルバー新報**



小野木孝二大会長

ふくせん研究大会開催  
福祉用具の役割を考える  
日本福祉用具供給協会  
と全国福祉用具専門相談  
員協会は19日、都内で6  
回目となる「福祉用具専

門相談員研究大会」を開  
催する。  
大会テーマは「介護人  
材不足を補う福祉用具  
サービスの役割―福祉用  
具の能力を最大限引き出  
す相談員のスキルアップ」。  
▽介護人材不足を  
補う福祉用具サービス▽  
福祉用具メーカーとの連  
携・協働▽地域・多職種  
連携・利用安全の取組な  
ど、5テーマ40演題での

口述発表のほか、俳優の  
東ちづる氏による「誰も  
排除しない『まぜこぜの  
社会』と福祉用具―日々  
の気づきと支え合いのか  
たち」をテーマにした特  
別講演なども行われる。  
午前10時～午後5時40  
分。浅草橋ヒューリック  
ホールにて。問い合わせ  
は03・6721・52  
22。

# 第6回福祉用具専門相談員研究大会 介護人材不足を補う福祉用具サービスの役割

## 口述発表① 介護人材不足を補う福祉用具サービス

6月19日(木)に東京・浅草橋ヒューリックホール(ライブ)併用で、第6回福祉用具専門相談員研究大会が開催された。口述発表は、介護人材不足を補う福祉用具サービスの役割をテーマに、多職種連携・利用者の参加・地域連携・研修・人材育成の観点から、福祉用具サービスの役割と今後の展望について、小野木孝二(小野木孝二)と、花巻愛(花巻愛)の2名が登壇し、発表を行った。

### 「寝たきり」利用者の生活を変えたリフト

「寝たきり」の利用者の生活を変えたリフト。花巻愛さんと、畑谷我哉さん。リフトは、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。花巻さんは、リフトを導入して、利用者の生活が劇的に変わったと話す。また、リフトは、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。花巻さんは、リフトを導入して、利用者の生活が劇的に変わったと話す。

## 口述発表③ 福祉用具メーカーとの連携・協働

福祉用具メーカーとの連携・協働。小島みさおさんと、東高弘子教授。福祉用具メーカーとの連携・協働は、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。小島さんは、福祉用具メーカーとの連携・協働を通じて、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。

### モニタリングに生成AI 記録時間半減

モニタリングに生成AI 記録時間半減。宮本康平さん。生成AIを活用したモニタリングは、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。宮本さんは、生成AIを活用したモニタリングを通じて、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。

## 口述発表④ 地域・多職種連携・利用安全の取組

地域・多職種連携・利用安全の取組。小島みさおさんと、東高弘子教授。地域・多職種連携・利用安全の取組は、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。小島さんは、地域・多職種連携・利用安全の取組を通じて、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。

### 選択制導入後の利用実態と課題を調査

選択制導入後の利用実態と課題を調査。小島みさおさんと、東高弘子教授。選択制導入後の利用実態と課題を調査することは、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。小島さんは、選択制導入後の利用実態と課題を調査することを通じて、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。

## 口述発表⑤ 経験3年未満相談員の福祉用具導入事例

経験3年未満相談員の福祉用具導入事例。菅原啓生さん。経験3年未満相談員の福祉用具導入事例は、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。菅原さんは、経験3年未満相談員の福祉用具導入事例を通じて、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。

### 利用者との目線揃える 効果の見える化

利用者との目線揃える 効果の見える化。菅原啓生さん。利用者との目線揃える効果の見える化は、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。菅原さんは、利用者との目線揃える効果の見える化を通じて、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。

### 開催概要

**日程**  
2025年6月19日(木)

**会場**  
浅草橋ヒューリックホール(東京都台東区浅草橋1-22-16) ※オンライン併用

**大会テーマ**  
介護人材不足を補う福祉用具サービスの役割～福祉用具の能力を最大限引き出す相談員のスキルアップ～

**主催**  
第6回福祉用具専門相談員研究大会実行委員会

**主なプログラム**

- ◆全5テーマでの口述発表・シンポジウム
- ◆特別講演「誰も排除しない『まぜこぜの社会』と福祉用具～日々の気づきと支え合いのかたち～(東ちづる氏・俳優 Get in touch代表)
- ◆ランチョンセミナー1「在宅介護における姿勢の重要性とその影響について」(田代大祐氏・神戸学院大学総合リハビリテーション学部講師、協賛=シーホネス)
- ◆ランチョンセミナー2「介護テクノロジーの動向と社会福祉法人善光会の取り組み」(宮本隆史・善光会執行役員、協賛=パラマウントヘルスケア総合研究所)
- ◆企業出張ブース(アロン化成、イーストアイ、シーホネス、タイカ、タマツ、日進医療機、日本福祉車輛協会、パナソニックエイジフリー、フラッツ、フランスパッド)

### 経験3年未満相談員の福祉用具導入事例

利用者との目線揃える 効果の見える化

菅原啓生さん

経験3年未満相談員の福祉用具導入事例は、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。菅原さんは、経験3年未満相談員の福祉用具導入事例を通じて、介護職員の負担を軽減し、利用者の生活の質を向上させる効果がある。

第6回福祉用具専門相談員研究大会ダイジェスト

「介護人材不足を補う福祉用具サービス」さらなる発展を目指して



全国の福祉用具専門相談員が一堂に会した



来賓として厚労省から福祉用具・住宅改修指導員の野上雅子氏が登壇。県田舎館長も局長のメッセージを読み上げた



特別講演では伊藤の東ちづるさんが登場

口述発表② 福祉用具利用効果の可視化

適切な用具変更がADLを維持

福祉用具の適切な利用は、高齢者の生活の質を向上させる重要な要素である。近年、福祉用具の普及が進んでいるが、その効果の可視化が課題となっている。本セッションでは、福祉用具の適切な利用がADLを維持し、生活の質を向上させる効果について、事例を交えて紹介された。

口述発表① 介護人材不足を補う福祉用具サービス

テクノロジーで客観的な生活状況を可視化

テクノロジーを活用した福祉用具サービスは、介護人材不足を補う有効な手段として注目されている。センサーやカメラを用いた客観的な生活状況の可視化により、介護者の負担を軽減し、高齢者の生活を支援する効果が期待されている。



開会式 小野木孝二大会長あいさつ

「福祉用具は人材不足を補う唯一のサービス」

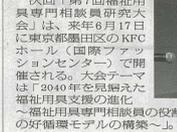
小野木孝二大会長は、開会式で「福祉用具は人材不足を補う唯一のサービス」と強調した。介護人材不足が深刻化する中で、福祉用具の活用は、介護の質を維持し、高齢者の生活を支援する上で不可欠な役割を果たしている。



口述発表⑤ 経験3年未満相談員の福祉用具導入事例



口述発表④ 地域・多職種連携・利用安全の取組



口述発表③ 福祉用具メーカーとの連携・協働



リフト導入の成否事例を評価・分析



「専門相談員が在宅生活のゼネリストに」



地域と備える防災支援



次回、来年6月に東京開催決定

口述発表⑤ 経験3年未満相談員の福祉用具導入事例

経験3年未満の相談員が福祉用具を導入する際の課題や成功事例について紹介された。適切な指導とサポートが、相談員の成長と高齢者の生活改善に大きく貢献していることが明らかになった。

口述発表④ 地域・多職種連携・利用安全の取組

地域や多職種と連携して福祉用具の導入を進めるための取組について紹介された。安全な利用環境の整備と、関係機関との連携が重要なポイントとなっている。

口述発表③ 福祉用具メーカーとの連携・協働

福祉用具メーカーとの連携・協働による新たなサービス開発について紹介された。メーカーと現場の連携が、より良い福祉用具の開発につながる。

次回、来年6月に東京開催決定

次回「第7回福祉用具専門相談員研究大会」は、来年6月17日に東京都墨田区のKFCホール(国際ファッションセンター)で開催される。大会テーマは「2040年を見据えた福祉用具の進化〜福祉用具専門相談員の役割とPDCAサイクルの好循環モデルの構築〜」。大会長を務める全国福祉用具専門相談員協会・岩文文理事長は「2040年に向けて人口構造が大きく変わっていく。こうした将来を見据えた取組を進め、福祉用具専門相談員として求められる専門性を身につけたい」と参加を呼び掛けた。

Advertisement for Seiho Series products. It features a woman sitting at a table with a laptop, and three numbered images showing different products: 1. A table with a laptop, 2. A table with a laptop and a chair, 3. A table with a laptop and a chair. The text emphasizes that posture changes can lead to 'I can do it myself' and lists benefits like 'conversations increase', 'sleeping becomes easier', and 'hobbies become fun'. It also mentions awards and contact information for Seiho Series Co., Ltd.

一般社団法人 日本福祉用具供給協会

[トップページ](#) > 動画配信

会員ログイン  
メンバーページ入り口

メールでのお問い合わせ

災害協定について

当協会について

事業案内

福祉用具選定士

日本福祉用具協会の  
様式・書籍等のご紹介

会員専用無料法律相談

会員専用総合補償制度

入会についての  
資料請求はこちらから

地域毎の活動

当協会が実施した  
調査研究事業

リンク集

「福祉用具の日」

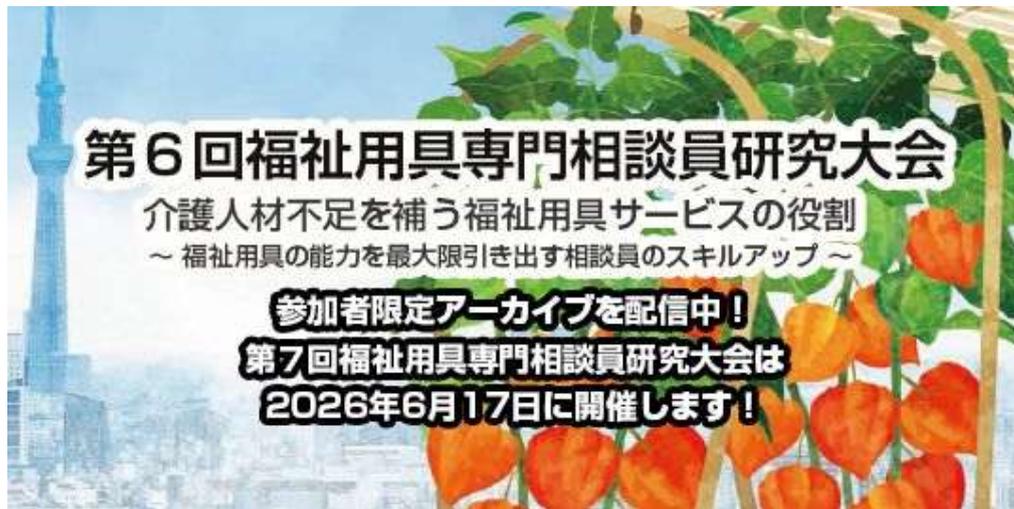


一般社団法人  
日本福祉用具供給協会

〒105-0013  
東京都港区浜松町2-7-15(三電舎ビル4階)  
TEL 03-6721-5222 (代)  
FAX 03-3434-3414

アクセス・地図

[個人情報保護に関する基本方針](#)



祝辞

[伊藤 孝江](#)（いとう たかえ）参議院議員

[竹内 謙](#)（たけうち ゆずる）衆議院議員

[田村 憲久](#)（たむら のりひさ）衆議院議員

[沼崎 満子](#)（ぬまざき みつこ）衆議院議員

（五十音順）

動画アーカイブ

第1会場

開会式



開会式

0:00:49～

特別講演



特別講演 00:24:01～

### 口述発表1【介護人材不足を補う福祉用具サービス】

座長：小林 広美氏（一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長）



月東 祐哉 0:01:09

森 祐樹 0:13:19

花香 愛・畑谷 泰我 0:26:15

神村 淳也 0:36:45

今村 慎太郎 0:48:50

川崎 めぐみ 0:59:34

松下 祐太 1:11:33

巖 英二 1:21:40

### 口述発表4【地域・多職種連携・利用安全の取組】

座長：勝田 由美子氏（一般社団法人ワイズ住環境研究所 代表理事）



高崎 光 0:01:38

岸本 拓真 0:11:37

磯部 真悟 0:22:12

伊丹 貴信 0:33:43

小島 みさお 0:43:35

浅野 一諒 0:55:05

菅原 桜 1:05:04

水越 良行 1:15:32

### シンポジウム・閉会式



シンポジウム 0:00:04

閉会式 1:01:51

## 第2会場

### ランチョンセミナー1



ランチョンセミナー1 0:00:32

### 口述発表2【福祉用具利用効果の可視化】

座長：田中 勇次郎氏（一般社団法人東京都作業療法士会 会長）



槻岡 正之 0:00:57

鎌谷 勝輝 0:12:12

東海林 明朋 0:22:41

前田 壮 0:32:31

有田 大 0:41:52

岩谷 知起 0:51:02

大田 健介 1:00:50

沼田 一恵 1:10:30

### 口述発表5【経験3年未満相談員の福祉用具導入事例（チャレンジ発表）】

座長：角南 拓磨氏（日本基準寝具株式会社 財務・法務Gr. 課長代理）

佐藤 啓太氏（フランスベッド株式会社 メディカル事業本部 メディカル営業推進課 課長）



渡邊 暖希 0:02:00

堀田 和秀 0:10:01

上村 航輝 0:19:30

小木 康平 0:29:11

菅原 誉生 0:38:08

藤原 孝洋 0:48:37

山崎 圭太 0:59:26

高橋 大地・徳留 勇治 1:07:41

## 第3会場

### ランチョンセミナー2



ランチョンセミナー2 0:02:42

### 口述発表3【福祉用具メーカーとの連携・協働】

座長：小林 大作氏（株式会社アシテック・オコ 代表取締役）



沼尻 侑也 0:01:12

上田 晃義 0:11:54

喜多 祐介 0:22:09

和泉 友紀 0:32:47

廣瀬 健史 0:41:57

安樂 慶太 0:52:09

中山 雅人 1:02:51

宮本 康平 1:14:23

### 老健事業等報告



エム・アール・アイ  
リサーチアソシエイツ 0:00:04

全国福祉用具専門相談員協会 0:10:34

日本福祉用具供給協会 0:29:02

※冒頭のスライド2枚分については収録できておりませんのでご了承ください。  
[スライドはこちら](#)

ログアウト

Copyright(c)1999, The Association of Care Goods Providers All rights reserved.

## 第6回福祉用具専門相談員研究大会 大会組織

大会長 小野木 孝二（一般社団法人日本福祉用具供給協会理事長）  
副大会長 岩元 文雄（一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会理事長）  
大会顧問 幸田 正孝（元 厚生省事務次官）  
山内 繁（元 国立障害者リハビリテーションセンター研究所長）

## 第6回福祉用具専門相談員研究大会 実行委員会

委員長 武田 洋（メディカルケア株式会社）  
倫理委員会委員長 白澤 政和（国際医療福祉大学大学院）  
査読委員会委員長 東島 弘子（国際医療福祉大学大学院）  
委員 千葉 博（株式会社サカイ・ヘルスケア）  
福島 伴彦（株式会社カクイックスウィング）  
安居 寛道（株式会社トーカイ）  
古沢 林太郎（株式会社トーカイ）  
池本 和樹（株式会社トーカイ）  
中沢 淳（全国福祉用具専門相談員協会）  
東谷 亮（全国福祉用具専門相談員協会）  
篠原 昌幸（全国福祉用具専門相談員協会）  
柳田 磨利子（全国福祉用具専門相談員協会）  
江口 誠（全国福祉用具専門相談員協会）  
伊藤 広成（日本福祉用具供給協会）  
淡路 陽子（日本福祉用具供給協会）  
運営協力 小林 毅（日本医療科学大学）  
顧問 酒井 博人（総合メディカル株式会社）

次回告知

# 第7回 福祉用具専門相談員研究大会

2040年を見据えた福祉用具支援の進化  
～福祉用具専門相談員の役割とPDCAサイクルの好循環モデルの構築～

**2026年6月17日(水)開催**

大会長

**岩元 文雄**

一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会 理事長



会場

**KFCホール**

(国際ファッションセンター)

東京都墨田区横網一丁目6番1号

<https://www.tokyo-kfc.co.jp/>